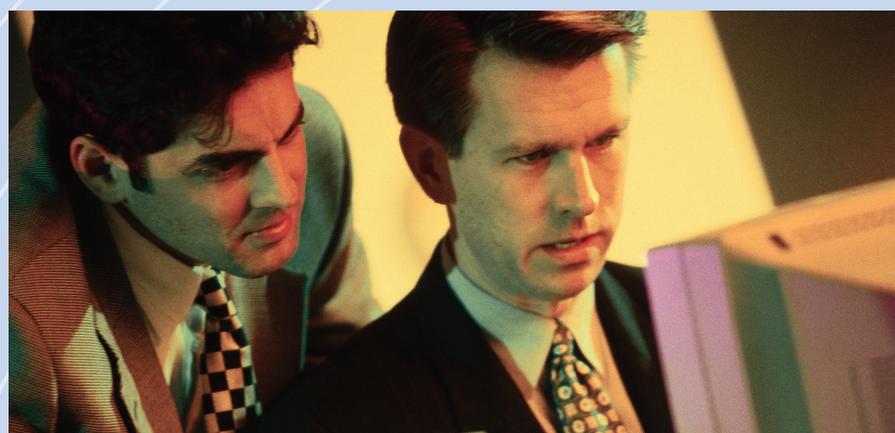


プロジェクト推進体制における真価： 考え方と姿勢の変換を促進する

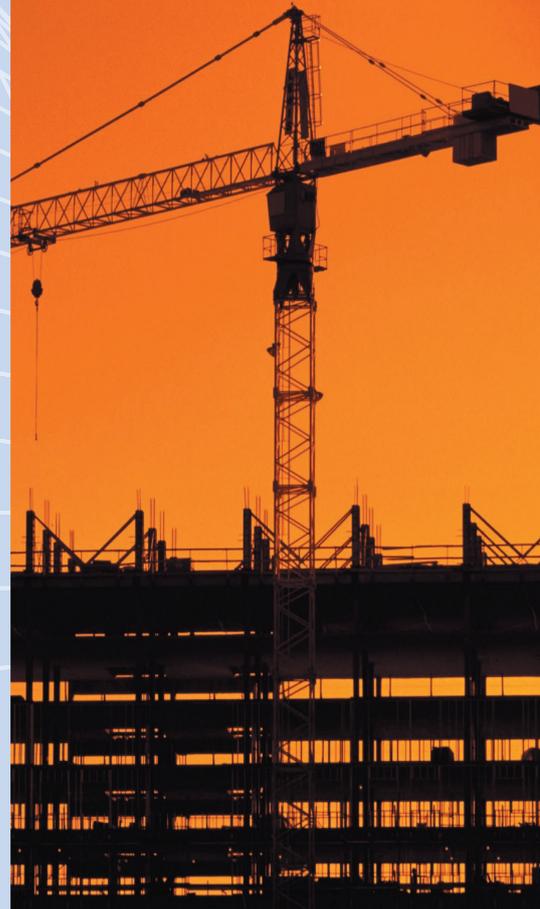
建設プロジェクトでのリレーションシップマネジメント - 前向きな積極性



BUILDING OUR FUTURE



AUSTRALIAN
CRC Construction Innovation



共同研究センターでは各地の大学、オーストラリア科学産業研究機構（CSIRO）とその他行政機関の研究所、民間企業または公立機関などから研究者を集め、国内経済、環境、社会福祉における重要な実質成果を目指して研究開発活動や教育活動を支援する長期的な共同作業を続けています。

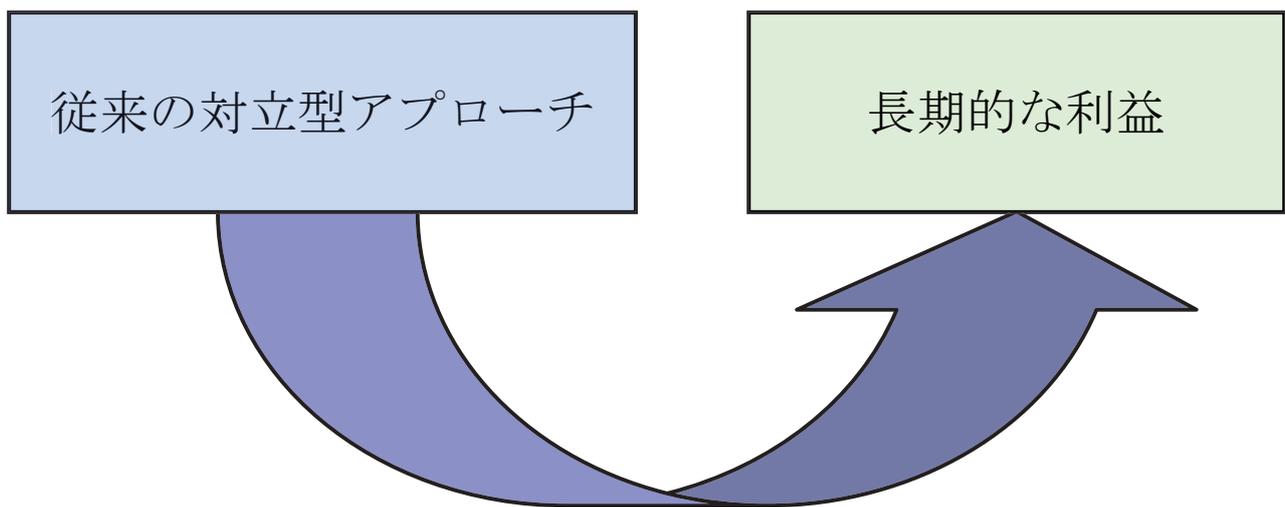


今日、世界的に業績や誠実さなどの価値が重視される傾向が増すなか、対立型の競争心に根付く入札の旧体制は受け入れられなくなり、リレーションシップマネジメントを基礎とする新しい取り組みが徐々に普及し成功を収めるようになってきています。オーストラリア共同研究センターの建設技術革新プログラム（Australian Cooperative Research Centre for Construction Innovation）により行われる本研究プロジェクトはこうした状況下でいかに考え方と姿勢の変換を管理していくことができるかを調査しています。

リレーションシップマネジメントの実施を成功させるためにはすべてのレベルで結束した責任感と継続的な相互理解が必要となります。価格以外による判断基準を重要視するようになってきた傾向、リレーションシップマネジメントやアライアンス形式の契約の出現などによりプロジェクトチーム管理における協力的な要素が注視されるようになってきました。考え方と姿勢の切り替えがこうしたプロジェクトの成果を最大限引き出すために必要であることは企業に理解されていますが、適切な考え方と姿勢を育てるのはプロジェクトチームにとってのみの目標ではなく、クライアント側となる組織もまた契約関係を提起し管理することができる適切な考え方と姿勢を育てなければなりません。行政関係者全員に対して真価を提供するためには、行政機関と企業の両者が「建設についての再評価」やよりよいプロセスと手続きを構築する必要があることを認識しています。対抗的なアプローチを避けより協力的かつ協調的な環境を目指し、継続的かつ率直でオープンなコミュニケーションを行っていくことがこのプロセスの成功に最も重要となります。この問題の重大性を広範囲で認識しながら、建設技術革新プログラムの研究プロジェクトは「プロジェクト推進体制における真価—考え方と姿勢の変換を促進する」を調査しています。

パートナリング、アライアンス、リレーションシップマネジメント

パートナリング、アライアンス、リレーションシップマネジメントには固定思考の変換—考え方と姿勢の変換—が要され、またクライアント側は契約側に準じて変化する必要があります。組織構造及び両者の考え方と姿勢の間に互いに適合感が必要とされます。契約関係は、行政関係者の能力を活かす、地域開発を促進させる、持続可能な産業といった恩恵を生む可能性があります。

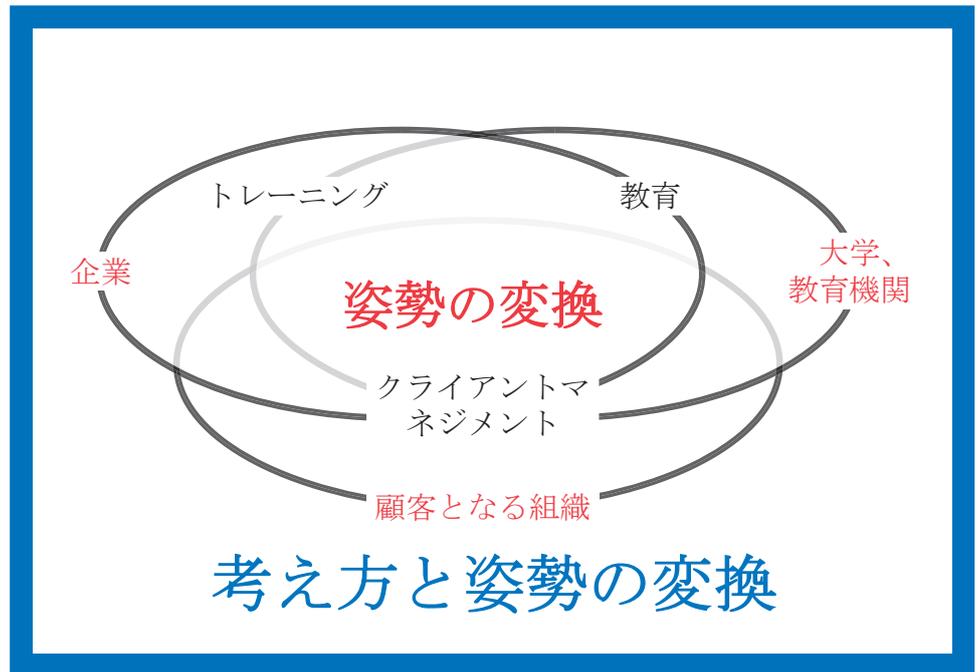


「固定思考」の変換

根本的な考え方と姿勢、態度をよく理解したうえで変換を行うことがリレーションシップマネジメントのアプローチを実施し成功させるために必要となります。この変換はリレーションシップマネジメントを支えるような考え方と姿勢、態度を意識したものでなければなりません。

プロジェクトの成果

- チーム及び組織の考え方と姿勢を十分に理解する
- 該当契約戦略に合う協力的なチームを選出する手順
- プロジェクト全体にわたりリレーションシップマネジメントを維持していくための役割分担、手続き、実施要項
- 姿勢の変換
- 業界の全体的な育成、トレーニングを主導



プロジェクトの主要な調査結果

- プロジェクト推進体制（PDS）は組織によりさまざまに見えるがPDS可変型のいずれかに分類することができる
- 適切なプロジェクト推進体制（PDS）及びリレーションシップマネジメントの構成要素を選択する手順については開発段階
- リレーションシップマネジメントは組織によりさまざまに見えるがいずれのプロジェクト推進体制にも適用できる
- クライアント側の組織にとって、プロジェクト推進体制（PDS）及びリレーションシップマネジメントの用語と定義が特に理解とコミュニケーションを深める助けとなる
- 多くの行政関係者は実地におけるプロジェクト推進体制（PDS）及びリレーションシップマネジメントに慣れていない
- 明白となった誤りー建設企業がリレーションシップマネジメントを「仲のよい友達関係」のようなものと誤った理解をしてしまう可能性がある
- リレーションシップマネジメントとはコミュニケーションを刺激して障壁をなくすということ
- リレーションシップマネジメントとはコミュニケーションを開き、議論を活性化させ問題の解決を早めるものだが、プロジェクトの費用面には焦点を置いていない
- 管理上層部はリレーションシップマネジメントを独自の方法で遂行する傾向がある
- 建設企業が評判を高め今後の受注の可能性を高める機会を得るという点でリレーションシップマネジメントは長期的なマーケティングツールとして頻繁に見られる
- クライアント側にはリレーションシップマネジメントにおける利点とその役割を認識するために教育が必要となる
- リレーションシップマネジメントはプロジェクトの目標、個人の目標そして行政目標を達成することができる
- 大学及び専門学校レベルでの現在の教育制度にはそのカリキュラムにリレーションシップマネジメントを十分に採り入れて考え方と姿勢の変換に対応する必要がある

発生している主な問題点

プロジェクト

- リレーションシップマネジメントはプロジェクト内におけるすべてのレベルで実施されなければならない
- リレーションシップマネジメントは単発的に行われるものではなく継続的に促進されなければならない
- 特定のプロジェクトにはリレーションシップマネジメントを必要としないものがある
- リレーションシップマネジメントによってプロジェクトの成功を得た例は数多く見られるが、議論の余地なく必ずしも必要とされるわけではない

人材

- トレーニングと教育が必要とされる
- 障壁をなくし非難することなくコミュニケーションが開けるよう促進されることが必須
- 継続的な促進が行われる必要がある
- リレーションシップマネジメント及び斬新なプロジェクト推進体制（PDS）は各役割自体を変換させるため（考え方と姿勢、態度の変換）、これが認識され明確にされる必要がある
- 形式にとらわれない柔軟なコミュニケーションが構成環境において行われなければならない
- すべての人がリレーションシップマネジメントに向いているわけではない

リレーションシップマネジメントの考え方と姿勢を正しく構築するには

- 適切な人材の雇用。雇用プロセスにおいてリレーションシップマネジメントに信頼をおけることが考慮に入れる点の一つであること
- 企業内および業界全体にリレーションシップマネジメントのトレーニングを供給し向上させること

今後の情報に関する連絡先:

プロジェクトリーダー: スティーブ ローリンソン、
クィーンズランド工科大学/香港大学

(Steve Rowlinson - Queensland University of Technology/
The University of Hong Kong)

電話: +852 2859 2808

E-mail: s.rowlinson@construction-innovation.info

オーストラリア共同研究センター、建設技術革新プログラム
Australian Cooperative Research Centre for Construction
Innovation

オーストラリア共同研究センターの建設技術革新プログラムはオーストラリア国内の用地開発、建設産業のニーズに焦点を置いた国立の研究、開発、実施センターです。建設技術革新プログラムは革新的なアイデアを採用し共同研究に取り入れてパートナー及び業界全体にとって意義のある成果を生み出しています。

オーストラリア共同研究センター、建設技術革新プログラム
(Australian CRC for Construction Innovation)

Level 9 - L Block, QUT Gardens Point

2 George Street, Brisbane QLD 4000

電話: 07 3864 1393 Fax: 07 3864 9151

E-mail: enquiries@construction-innovation.info

ウェブサイト: www.construction-innovation.info

共同パートナー

「プロジェクト推進体制の真価－
考え方と姿勢の変換を促進する
(Value in Project Delivery
Systems: Facilitating a Change
in Culture)」
プロジェクト(2002-022-A)はオース
トラリアの企業、行政機関、及び研
究パートナーなど8組織により支援



Queensland Government
Department of Public Works



Queensland Government
Department of Main Roads



**The UNIVERSITY
of NEWCASTLE**
AUSTRALIA



**RMIT
UNIVERSITY**



CSIRO

